

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成22年度 経済産業大臣賞 受賞	受賞者名	西日本ペットボトルリサイクル株式会社
	所在地	福岡県北九州市
	受賞テーマ	容り法の施行に伴う我が国の PET ボトルリサイクルの拡大・推進とリサイクル技術の向上、並びにエコタウン事業の推進
1. 活動継続 あり		<ul style="list-style-type: none">市民や自治体を積極的に受け入れ、平成 28 年度末には工場見学受入累計 9 万 1 千人達成。
		
		<ul style="list-style-type: none">累計処理量も平成 28 年度で 28 万トンクリア、国内最大規模の工場として廃 PET ボトルを再生し、国内の再生品利用市場を拡大してきた。
2. 活動の広がり あり		処理する自治体も広域に渡り、高効率で二酸化炭素の排出量を削減するとともに省資源に大きく寄与している。
3. 活動の進化 あり		これまでの再生品市場に加え、更に高度な技術が要求される食品用容器等にも PET 再生品ができるようになった。
4. 今後の計画		<ul style="list-style-type: none">国内の廃 PET ボトルの総資源化を目指す。再生品の国内市場を更に拡大するための技術開発を推進
5. その他		現在起きている廃 PET ボトル原料の海外流出が問題と考えている。国内資源循環を目指すべく国や行政等に今後も訴えていきたい。

【表彰概要】

同社は、容器包装リサイクル法が施行された平成9年に関係先の要請も受け設立。同年、全国初のエコタウン事業に認定され、国内のPETボトルリサイクルの立上げと技術確立に尽力してきた。

<分別収集量拡大と原料品質改善への働きかけ>

容り法の施行当初は、自治体の分別収集量は少なく国内に再商品化工場も少ない状況であったが、同社では、自治体や市民に対して、分別収集のやり方の改善等を働きかけ、分別収集量の拡大と原料の品質改善を進めた。

<業界との連携>

PETボトルメーカーに対して、リサイクルしやすいボトルへの改善について働きかけを行った。また、再生品利用事業者とともに再生品の用途拡大を推進、特に品質向上技術の確立によりバージンレジンと遜色の無い再生材を造ることで、繊維、シート、ボトル等多岐に渡る用途開発を図り、国内最大規模の処理を実施してきた。

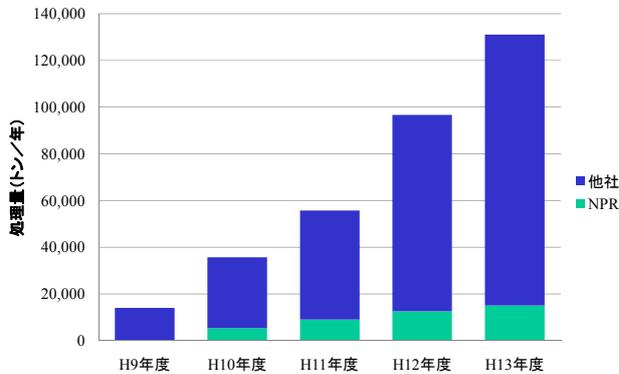
<業界の基盤整備づくり>

指定法人の登録事業者で構成された廃PETボトル再商品化協議会の会長として、容り法システム・インフラの維持向上のために尽力している。

<エコタウン事業の推進>

全国エコタウンの一番バッテリーとして北九州エコタウンの先駆的役割を担い、市民の工場見学受入体制の整備や受入（累計58千人）を実施してきた。また、エコタウンのゼロエミッションを目指す「廃棄物による発電とその使用等の受電協同組合」の設立等にも関わり、北九州エコタウン事業の推進に寄与した。

容り法立上げに伴うNPRの処理シェア



NPR工場見学者5万人達成記念<2008.9.30>



小学校4年生の皆さん